

社団法人 認知症の人と家族の会
新潟県支部 下越エリア
2010年 世界アルツハイマーデー記念講演会

最期まで住み慣れた地域で

— 看取りの医療を実践して —

〔講師〕 齋藤 忠雄 先生

(齋藤内科クリニック院長・医学博士)

〔日時〕 平成22年9月4日(土) 13時30分～15時30分

〔場所〕 新潟市総合福祉会館

(新潟市中央区八千代1-3-1 電話 025-248-7161)

〔参加費〕 300円

「癌を患っても、最期まで在宅で過ごすことができます」「認知症になった方や介護が必要な方でも、最期まで住み慣れた地域で過ごせる仕組み作りに取り組んでいます」これは、齋藤先生の言葉です。地域医療の先頭に立ち、自ら実践されている先生の言葉には力強さと説得力があります。

講師プロフィール

1954年、福島県生まれ。1990年、新潟大学大学院卒業後、米国アラバマ大バーミンハム校客員助教授。帰国後、1994年、新潟市中央区高志に開業、地域医療に取り組む。小規模多機能型居宅介護施設と小規模型デイサービスセンターを開設。2008年8月より24時間体制の在宅療養支援診療所・緩和ケア診療所となる。現在、『住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくり』をめざして多職種によるネットワーク作りに取り組んでいる。

9月21日は世界アルツハイマーデーです

私たちは、アルツハイマー病及び関連の諸疾患に関する世界的啓蒙の普及を図ると共に、地球規模での理解と把握につとめ、患者と家族への支援を推進するために努力し働きかけていきます。

〔主催〕 (社)認知症の人と家族の会 新潟県支部 下越エリア

〔連絡・問合せ〕 等々力(025-269-2282)

※ お申し込みは不要です。会場に直接おいでください。